

障害者等への対応事例

< 事例1 >

対象者 車いす利用者

内 容 車いす利用の来庁者（介助者不在、1人）から、「入口まで押してほしい」「空き缶を捨ててほしい」「近くの自動販売機で水を買ってきてほしい（お金は来庁者負担）」等の依頼を受けた。対応基準がないため依頼内容によっては対応に苦慮している。

合理的配慮の観点から状況に応じ可能な範囲で対応している。

< 事例2 >

対象者 車いす利用者、人混みが苦手な子ども（中学生以下）、ベビーカー利用者

内 容 宇部まつりにおけるハートフルエリアの設置

車いす専用エリア、人混みが苦手な子ども専用エリア、ベビーカー専用エリアを設置した。

【概要】

- ・車いす専用、ベビーカー専用

参考資料を参照

- ・人混みが苦手な子ども

対象：発達障害等に人混みでの観覧が難しい中学生以下

設置場所：市民交流棟3階テラス席

定員：30人（同伴者4人程度）

周知：小中学校特別支援学級、宇部総合支援学校、児童発達支援事業所にメール送付